

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	川崎市子ども発達・相談センター みいも		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 14日		～ 2026年 1月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	2026年 1月 14日		～ 2026年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの発達状況や行動特性に合わせた、子どもが期待感を持って参加できるプログラムの提供。	どのような活動も意欲的に参加することができるよう、子どもの好きなもの・得意なことを取り入れ、興味関心を持って取り組めるようにしています。	引き続き、発達状況や行動特性を適切に理解し、個々のニーズに合わせた支援が提供できるよう、職員のスキルアップを図ります。
2	子どもにとってわかりやすい環境設定。	写真や絵カード等の視覚的な支援を用いて、わかりやすく子どもが安心できる環境設定を行っています。 また、今から行うこと、これから行うことなどおこさんが見通しを持って自分から行動できるような設定を心掛けています。	子どもが自身で考え行動できる経験を積めるような環境設定、工夫を今後も行っていきます。
3	地域の幼稚園・保育園等との利用児を通じた継続的な連携。	利用児の所属園へ訪問し様子伺い、クラスの活動内容に反映したり、先生方と様子の共有を行っています。 また、クラス終了後にも訪問を実施し、クラスでの様子や関わりのポイントをお伝えしています。	今後も訪問支援を継続的に実施し、子どもやご家族が安心して地域で過ごすことができるお手伝いを実施します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動概要等の情報や業務に関する自己評価の結果の発信。	クラス活動の概要を書面で毎回お渡しをしていますが、書面の活用方法の説明が不十分であったと考えます。 また、自己評価について川崎市北部地域療育センターのホームページにて公表していますが、周知が足りないと思われます。	クラス活動概要の書面を活用いただけるよう、事前に説明を実施します。 自己評価の公表についてクラスに掲示を行う等、周知方法を検討します。
2	保護者同士の交流設定。	現在学習会や懇談会をクラスの様子やニーズに合わせて実施していますが、短期間療育のため、機会が十分でないことが考えられます。	短期間の療育でも保護者同士が交流し、必要な情報交換ができるよう、学習会や懇談会の設定・内容を適宜見直します。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	川崎市子ども発達・相談センター みいも	公表日	2026年	3月	30
		利用児童数	2026年	1月	27
回収数 29					

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	3	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	29	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28	0	0	1	活動前には絵や図を見せたり先生が手本を見せたりして分かりやすい工夫がされていた。	お子さんが積極的・意欲的に参加することができるような工夫を今後も行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	2	0	1	十分の線引きが不明。	個々のお子さんの発達状況や課題等を詳細に理解し、専門性のある支援を実感頂けるよう支援内容の充実に努めます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	1	0	1	私が公表内容を把握できていませんが、問題は無いと思っています。 (はい、分からない両方に○あり1件)	契約時にお渡ししている「利用のご案内」と川崎市北部地域療育センターホームページ上で公表しております。皆様にご理解頂けるよう周知をします。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27	1	0	1	親からの自己開示、頭の整理ができていられるかもポイントだと思います。	保護者の皆様のお話しやご意見を伺いながらの作成に今後も努めます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	1	0	3	探りながらという印象で決めつけないのは良いかもと感じているところです。 (はい、分からない両方に○あり1件)	具体的な支援内容を設定し、保護者の皆様に実感頂けるような説明ができるようにします。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	28	0	0	1	固定化と同じことをくりかえす必要性の違いが本間では分からなかった。	様々な経験ができるよう、目的のある魅力的な活動を今後も設定していきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	21	4	1	3		短期間療育のため交流の機会はないですが、必要に応じて地域の保育所・幼稚園へ訪問し連携を図ります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	25	1	0	3		クラス利用の保護者の皆様に対象に学習会を実施しております。内容の充実に今後も図ります。
保護者 への 説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	27	1	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	1	0	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	6	5	10		短期間療育のため保護者会等の仕組みづくりはありませんが、通園日には学習会や親子分離の時間で保護者同士が話せる機会を引き続き設定します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	1	0	1	未記入3	以下、2ページ目未記入がありましたため、最後まで回答いただけるよう説明を十分に行います。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	0	0	0	未記入3	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	2	1	12	未記入3 口頭ではしっかり情報共有していただいています	川崎市北部地域療育センターのホームページで業務に関する自己評価の結果を公表していることについて周知を充実させます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	0	1	1	未記入3	個人情報の管理に関して、改めて職員に徹底を行います。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	1	0	0	未記入3	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	3	0	1	未記入3	避難訓練の周知徹底、避難経路の確認等を保護者の皆様にわかりやすく行います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	1	0	0	未記入3	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	1	0	2	未記入3	契約時にお渡ししている「利用のご案内」を基に説明を実施しています。また、クラス内に対応について掲示をしていますので、周知徹底を行います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26	0	0	0	未記入3	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	1	0	0	未回答3 毎回楽しみにしている/毎回手作りの教材や工作に使う材料等を沢山用意されていて引き続き療育を受けたいと子どもは話している。	皆様に楽しみに通所して頂けるよう、今後も努力いたします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	0	0	0	未回答3	支援に対する満足感、充実感を持って頂けるよう努めます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		川崎市子ども発達・相談センター みいも				公表日	2026年3月30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	0	何をすべきか・何が起こるのか等がわかりやすくなるよう、配置や提示方法を工夫しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0	子どもの年齢や発達特性に応じて空間の使用方法を工夫しています。毎日消毒・清掃を実施しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0	こどもや保護者の様子に応じて別部屋を使用する等、臨機応変に対応しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	児童発達支援評価表だけでなく、事業所独自のアンケートを保護者に実施し、業務改善につなげています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	法人内研修だけでなく、個人で研修を受講することが可能です。北部地域療育センターと連携した研修も実施しています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0	北部地域療育センターのホームページにて公表をしています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	0	アセスメントを実施し、こどもや保護者の意向だけでなく、専門相談チームが実施する所属園での様子聞き取り等も加味して作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	児童発達支援計画の原案を作成後、クラス職員と確認・共通認識を図る機会を設けています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	支援計画の内容を職員で共有してからクラスを開始しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	アセスメントツールを使用して実施し、職員全員で内容確認を行っています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0	児童発達支援ガイドラインに沿って、必要な目標・内容が設定されています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0	クラス職員だけでなく、児童発達支援管理責任者も一緒に立案をしています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0	こどもが意欲的に期待して参加ができるよう、こどもに合わせて活動を設定しています。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	クラス職員だけでなく、児童発達支援管理責任者や必要に応じて地域連携コーディネーターも打ち合わせに参加しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0	クラス終了後に毎日、打ち合わせ（反省・次回に向けて）をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0	決まった書式を使用し、記録を毎回しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	併行利用のお子さんにはクラス利用中に1回以上訪問を実施し、適応状況の観察だけでなく先生方との話し合いも実施しています。新たに併行利用開始した場合も実施時期を検討しながら同様に行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	専門相談チームと連携し、就学先の小学校への引継ぎを行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	0	北部地域療育センターの職員による、スーパーバイズ、研修の機会を設けています。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	2	併行利用しているお子さんへ、必要に応じて事業所の職員が保育所・幼稚園等へ訪問支援を行っています。	幼稚園・保育所に通われている方が主ですので交流の機会は確保されています。そこで所属園での適応を促すための訪問支援の充実に努めます。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0	クラス開催時に、学習会(家族支援プログラム)を実施し、研修や情報提供を行っています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	契約時に書面に沿って説明を行っています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	アセスメント時に、こども保護者の意向を確認しています。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3	0	契約時に「児童発達支援計画」を書面で提示しながら説明・取り交わしを実施しています。		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0	児童発達支援計画の面談だけでなく、クラス中間時にご意向やご意見を伺う面談と別途設定しています。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	1	短期間療育のため保護者会等の仕組みづくりはありませんが、学習会や懇談会等の時間で保護者同士が話せる機会を設けています。	今後も保護者同士が交流することが出来るよう努めます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	1	HPやSNSは活用していませんが、活動概要や連絡体制等は来所時に保護者に配布するよう対応しています。	必要に応じた情報の発信方法を検討していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0	言葉だけでなく、イラストや写真等で自分の意志を伝えられるようツールを用意しています。また、保護者に向けて、書類にはルビ振りを行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2	他施設の方等の見学希望等に対応しています。	今後も地域の皆様のご要望に応じて施設見学等に対応します。
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0	
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0		
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	0		
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0		
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0		
50		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0		
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	北部地域療育センターと連携し、研修の確保や委員会への参加を行っています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	0			